

正義のヒロインは
敗北報告会でセカンドレ○プされる



正義のヒロイン

日々
人類を悪の組織から
守る彼女たちは
危険の対価として
さまざまな特権が
与えられる

税金の全額免除され
親族はもっとも治安の良い
セントラルシティへの
居住が認められたり

かく言う僕も
そのおこぼれに
預かっている一人だ

ここで最新の治療を
受けていなければ
とくに僕は
死んでいただろう

やっ
宏樹

体調はどう？

ウイーン





……うん
そうだね

もう心配する
必要はないから



だからさ
無事私が引退できたら
デートしようよ

もちろん
宏樹のおごりでね



うん！
任せてよ

今のうちに
いろんなスポット
調べておくれ！

このとき僕は
知らなかったんだ

正義のヒロインを
蝕むもう一つの
悪の存在を



エーテル循環
リブート



日常に
戻るために

ワイイイン

頑張らなきゃ

もうあんな目に
遭うことは
ないんだから

カッ
カッ
カッ

大丈夫よ
今日はただ
説明するだけ



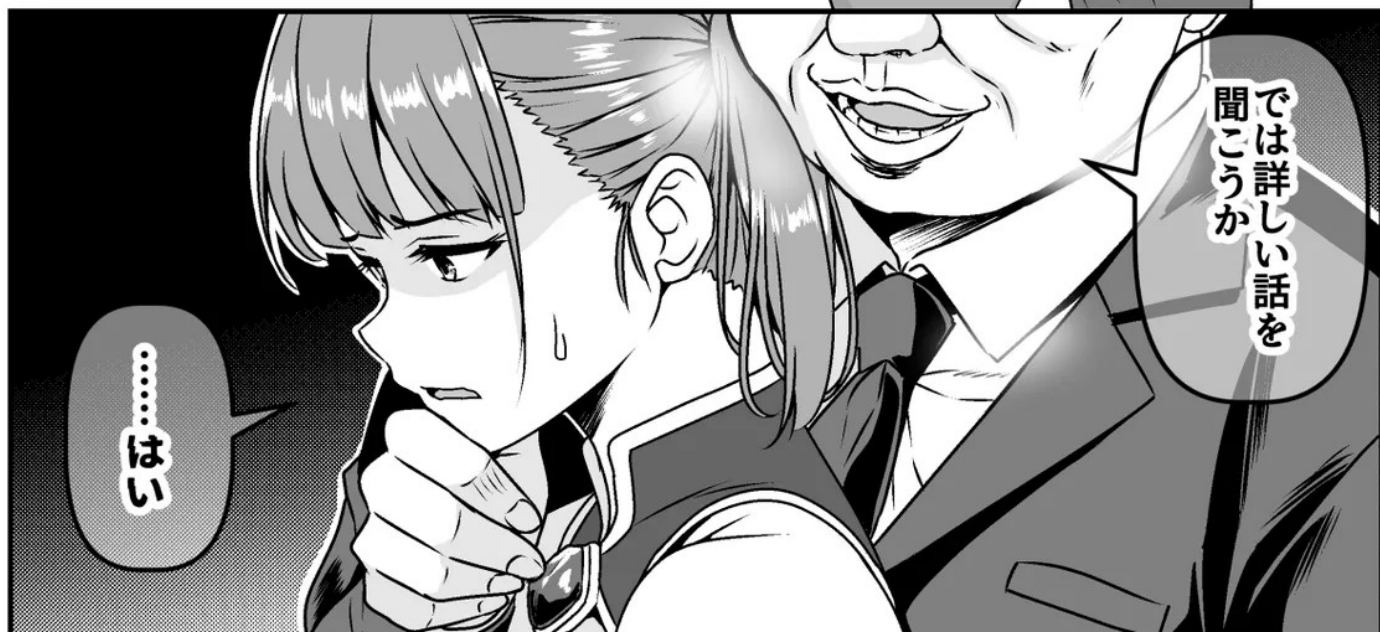
本日はお忙しい中
集まっていたいただき
ありがとうございます

このたびは私
正義のヒロイン
ミスティリリーの

敗北に関する謝罪および
今後の進退について
説明させていただきます

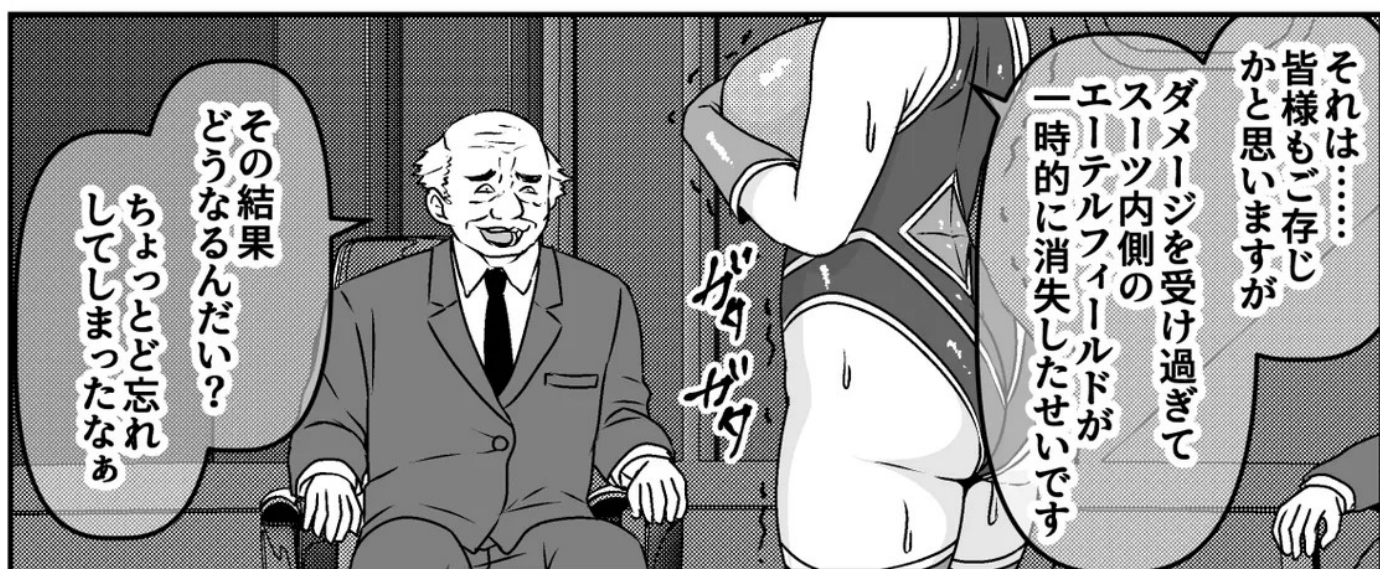
ははは
そう固くならんでも
いいんだよ

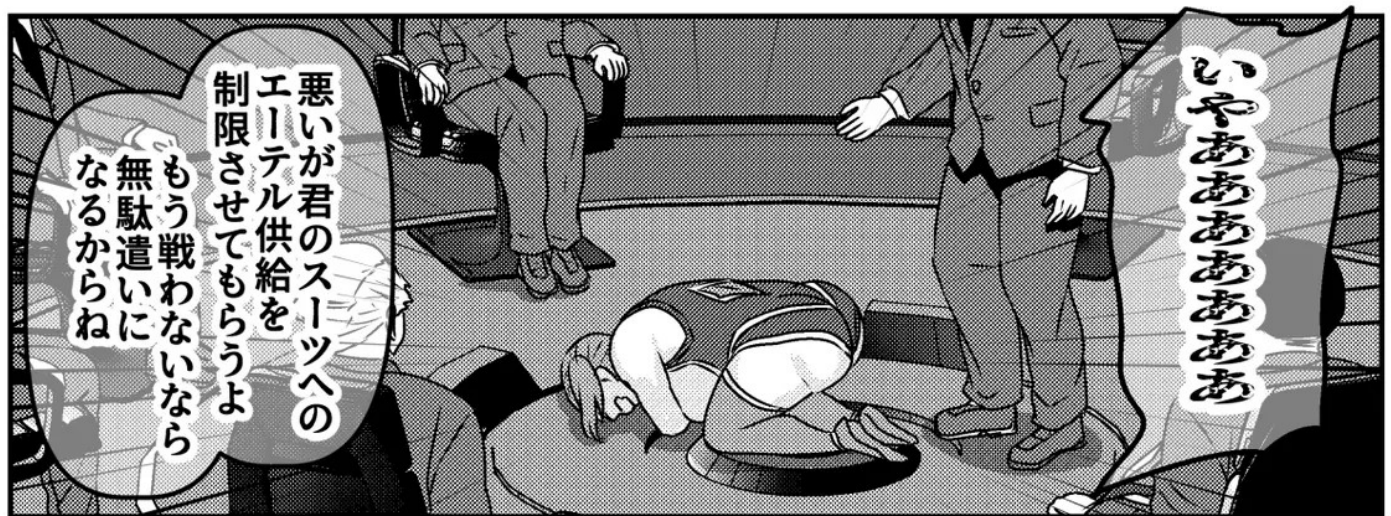
我らスポンサーは
常に君たちヒロインの
味方だからね













物理的な暴力が
終わると
次に待ってたのは
性的暴行でした



人間の三倍近く
あると言われる
怪人の生殖器に
私の膣は蹂躪されました

殴られるのとは違う
未知の痛みに
私はただ泣き叫ぶ
しかできず……

未知ということとは
処女だったと
いうことかな？

君は付き合ってる
男の子がいると
聞いていたが

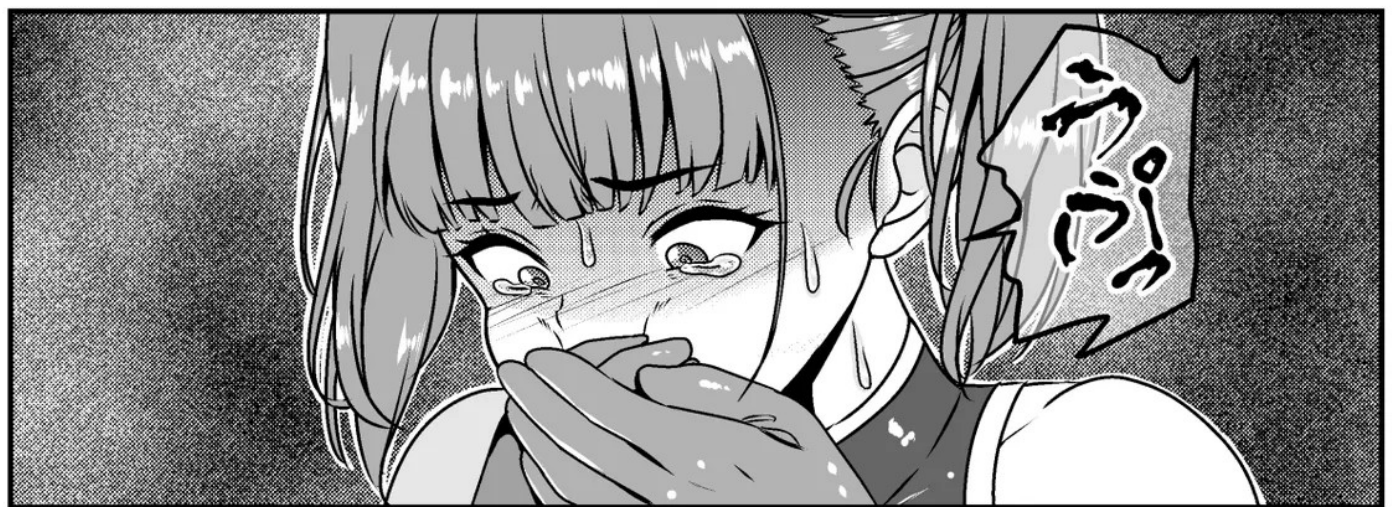
はい……
初めてでした

彼は……
体が弱くて……

つまりこれが
君の初体験
だったわけだね

……はい







そこから暴行は
さらにエスカレート
していきましました

怪人たちは
我先にと私に
群がり……

膣が使えないときは
お尻の穴にまで
突っ込んできました

あまりの痛みに
私は気絶して
しまいました

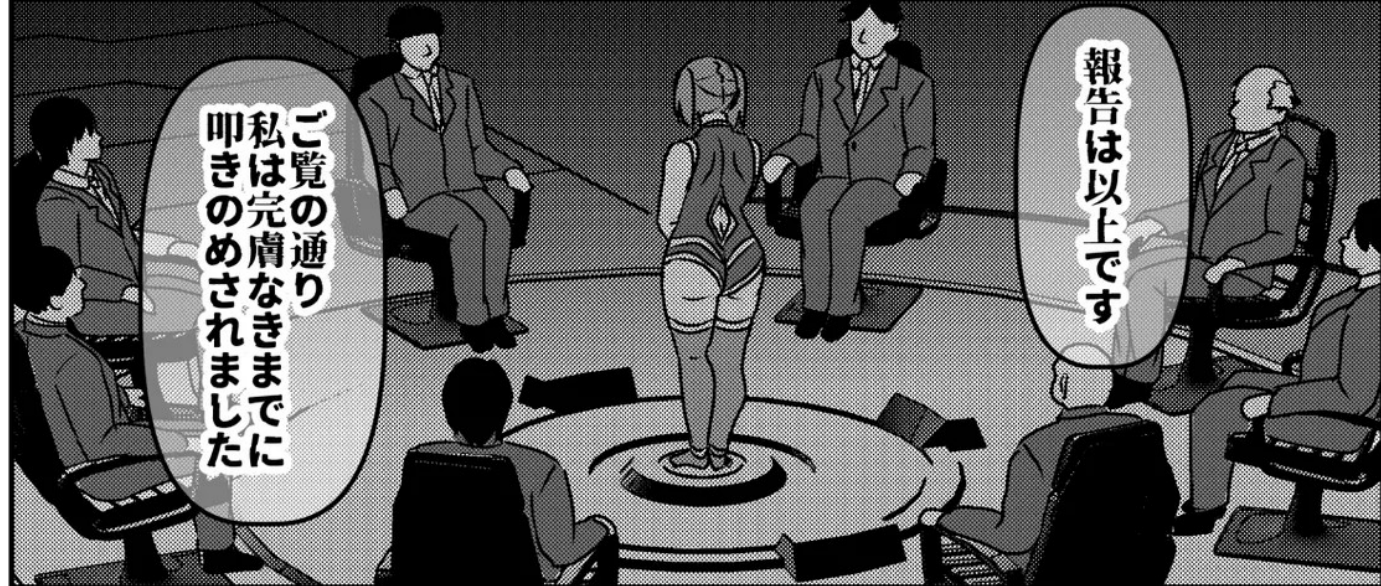
でも
それでも彼らは
止まらなくて……

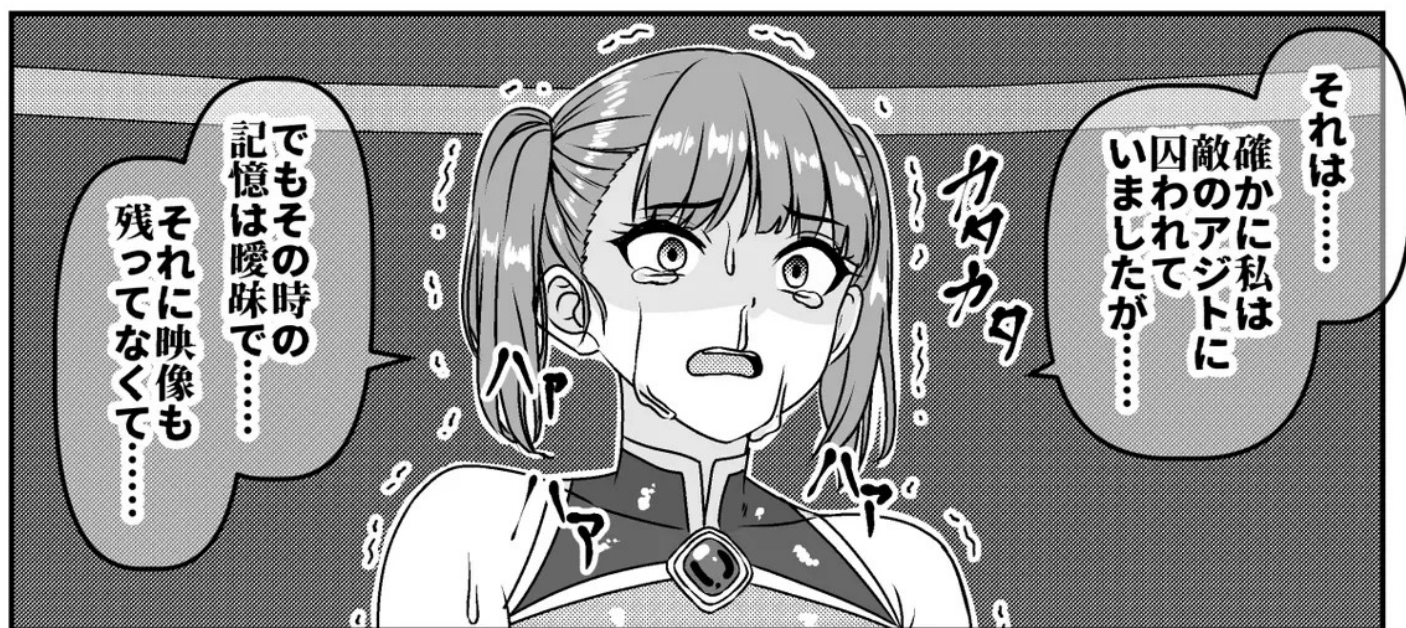
その先の記憶は
ほぼありません

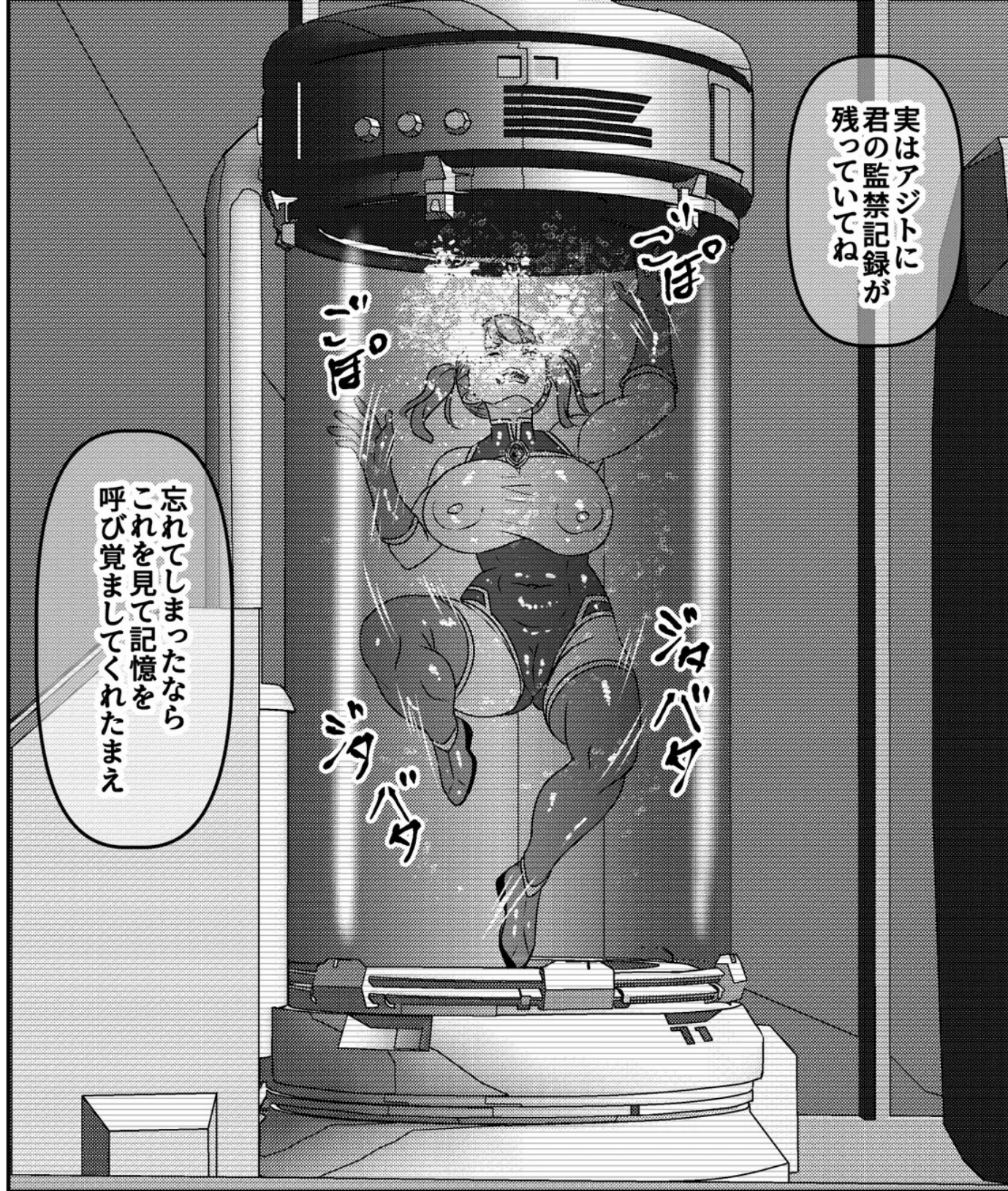
痛みで
目覚めて

また痛みで
気絶しての
繰り返しでした

うあー！









いやあ
この映像には
驚かされたよ

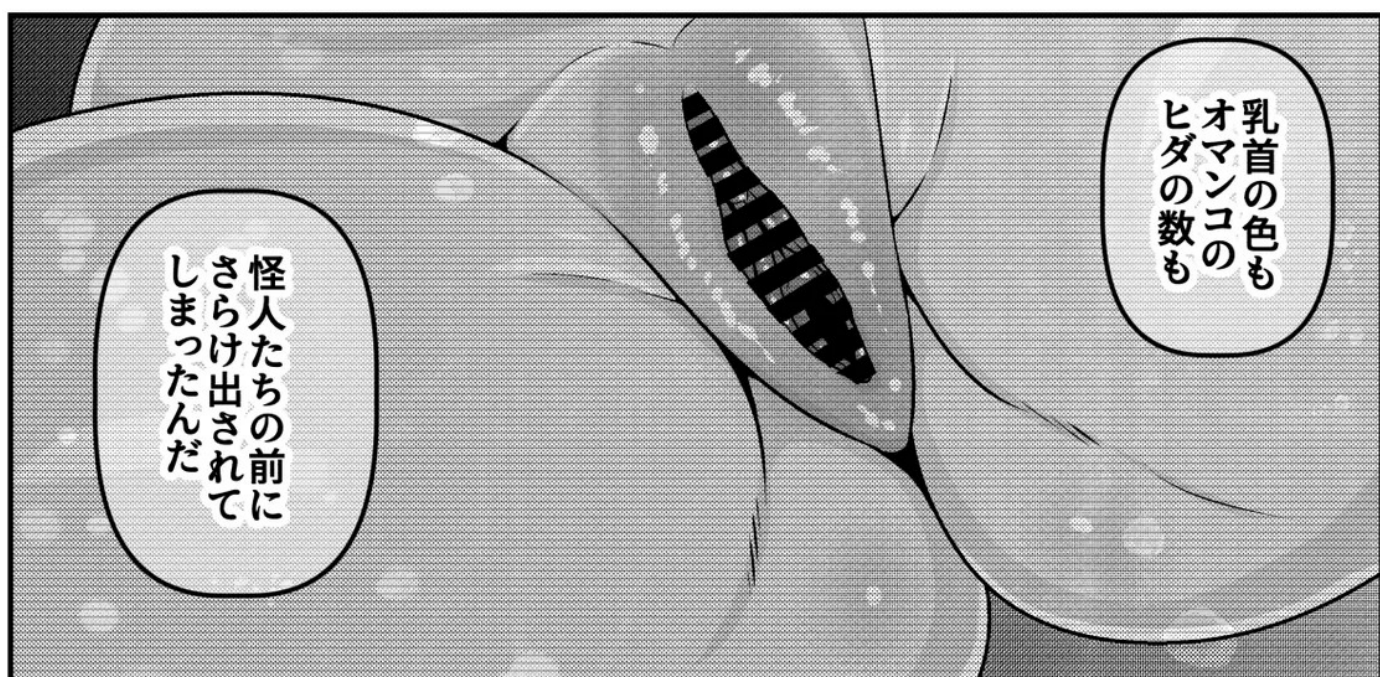
シシッ

まさか
エーテル素材である
ヒロインスーツを
溶かす技術を奴らが
持っていたとはね



そうして君は
ヒロインスーツという
鎧を剥ぎ取られ
無力な少女となった

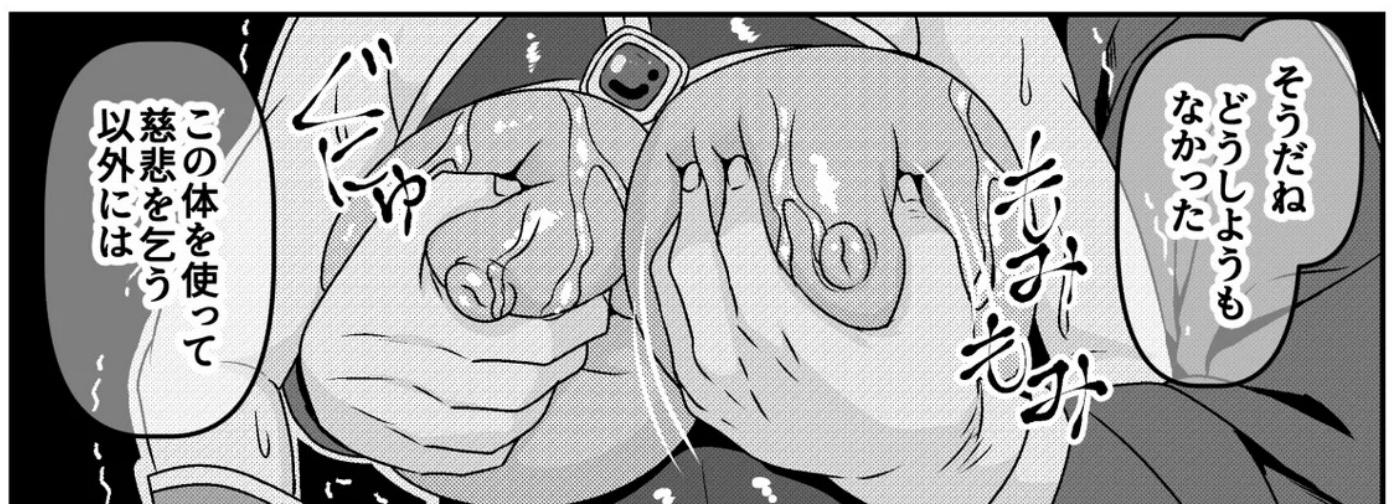
ズパッ



乳首の色も
オマンコの
ヒダの数も

怪人たちの前に
さらけ出されて
しまったんだ







そこからの君は
ベテラン娼婦顔負けの
動きを見せた

口と手
さらには足まで
フル活用して
次々と怪人の
性欲処理をした



幹部と思しき怪人には
ことさら媚を売り
自慢のデカパイを使って
じっくり奉仕した

彼氏が見たら
激しく心を
痛めるだろうね







君がどう恐怖し
どう泣き叫んだか

どんな屈辱を受け



どのような絶望に
飲まれたのか

そのすべてを
我々に教えること



それが
君の最後の
任務なんだ!!







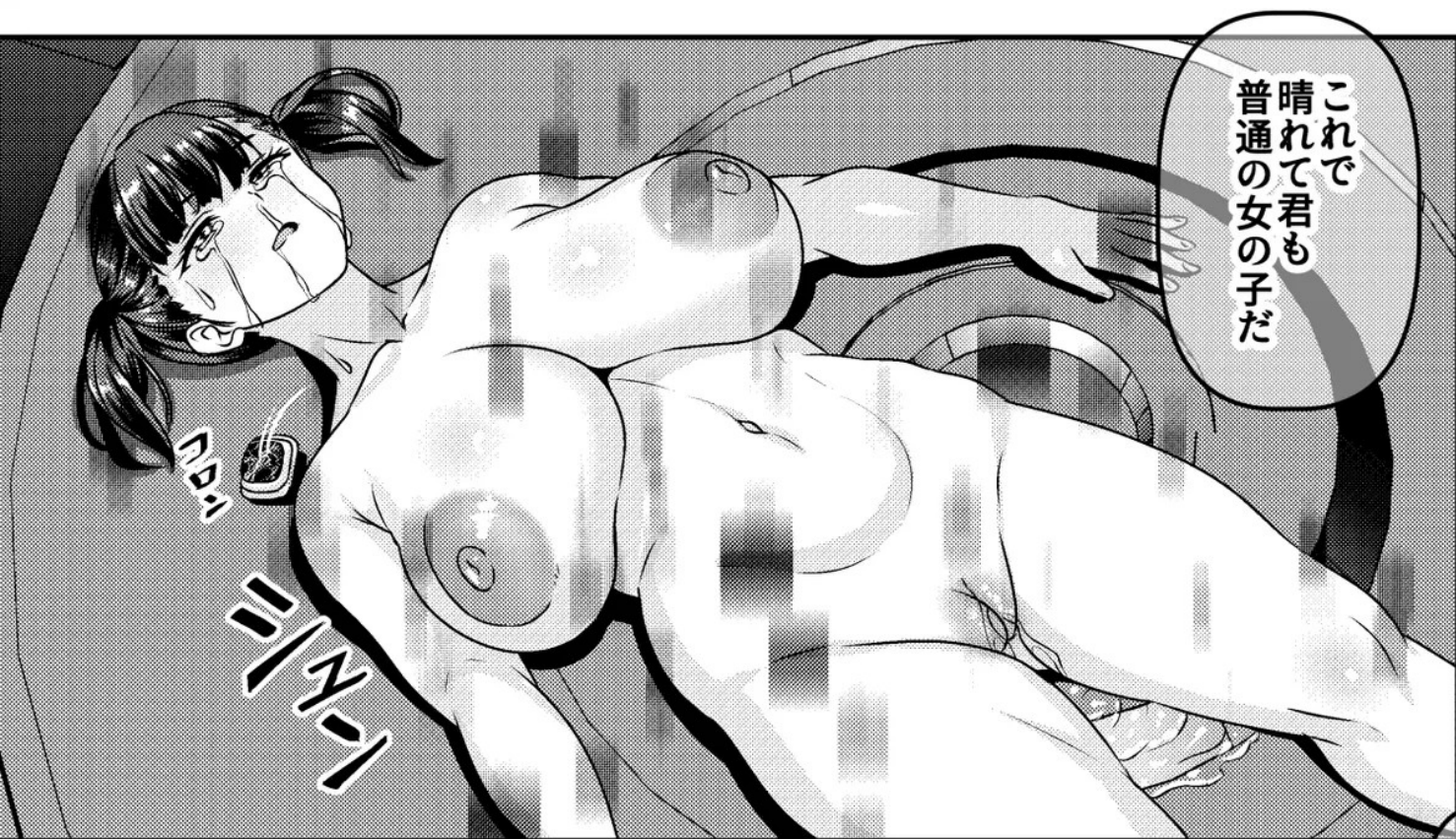
よく頑張ったね
陽真里君

君の引退を
受理しよう



ふう……
今回も実に有意義な
報告会だった

この情報はきつと
後進のヒロインたちの
助けとなるだろう



これで
晴れて君も
普通の女の子だ



エーテルによる
保護がなくなれば
もはや君は――

じわあああ

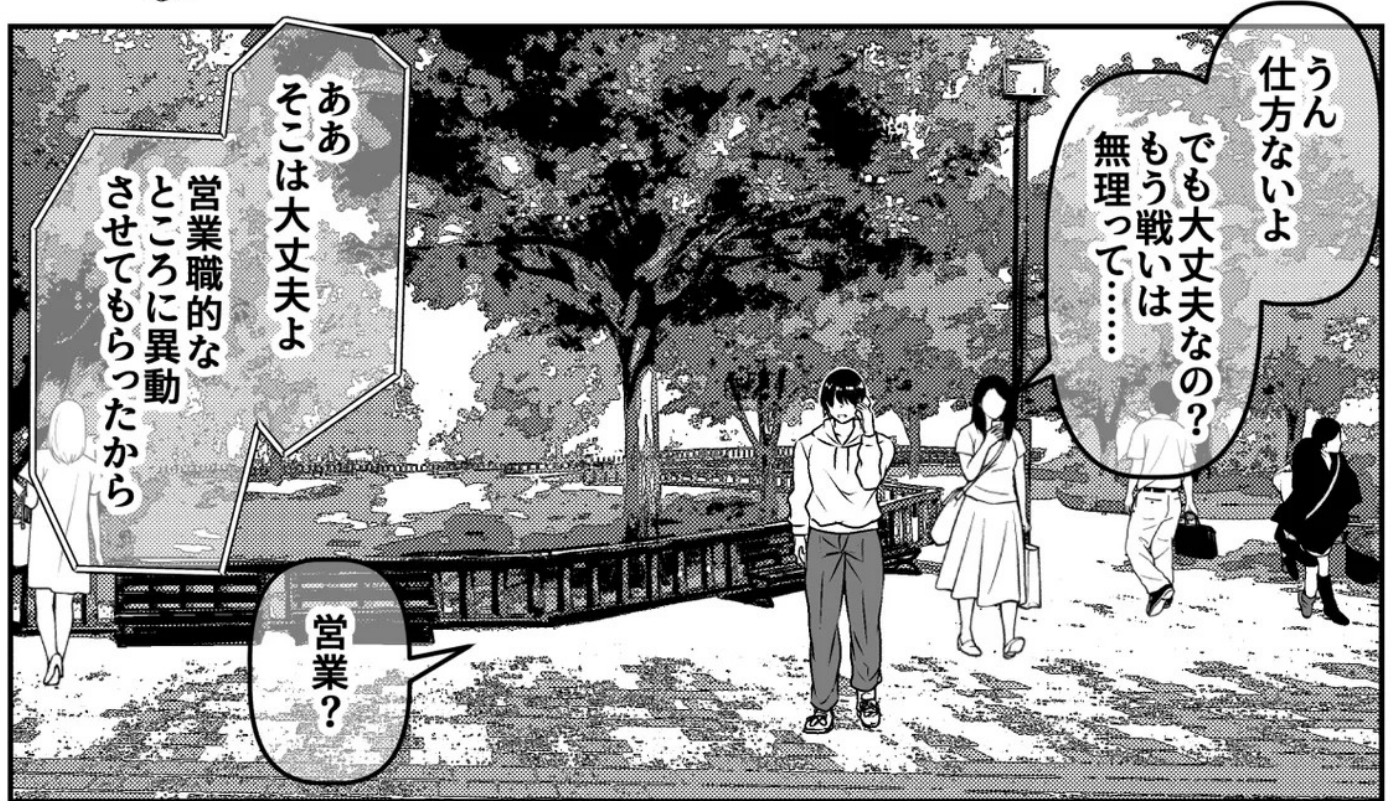
……え？



さきほど言ったように
君は怪人の遺伝子に
侵食されている

だが気をつけたまえ







だから……

私
頑張るから……

暴力OK

「社限定」孕ませ出

いろいろ
辛いことはあるけど
絶対にやり遂げて
みせるから

「ミニ・ナル」使い放題
「ミニ」月額一千万

待っててね……
宏樹



END

